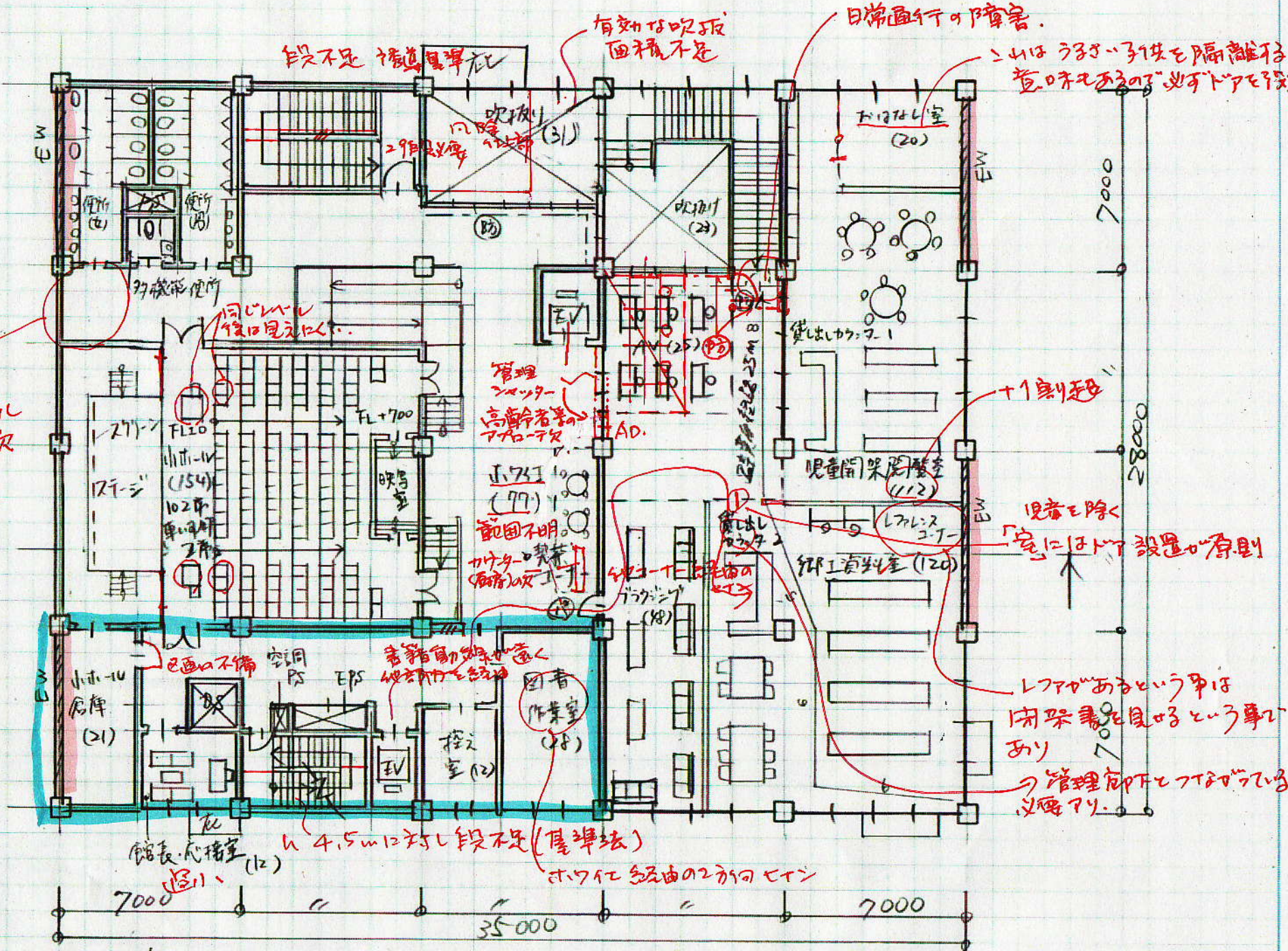


(ア) 1階平面図 1/200



(イ) 2階平面図 1/200

(1) 建築計画について、次の①～③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 外部アプローチ計画について、工夫したこと

集合住宅に対し、アラビアン、車と徒歩の音、排気ガスにおける配慮
 道幅が広く歩道を有する北面道路に面して主出入口を設け、中央部を横断歩道に合わせ、メインアプローチとした。歩車分離により安全を確保するため、駐車場は敷地の西側にし、南北西側から進入できる計画とした。通用口は南面に設け、利用者動線を分離し、南側道路からのアプローチとした。

車と徒歩の交通音あり

3/6

② 要求室（またはコーナー）の配置について、工夫したこと

図書部門を建物の東側に、集会部門を西側にそれぞれ明確に分けて配置し、ゾーニングを行った。開架閲覧室の右コーナー、および各カウンターから見通しの良い配置となるようにバスター、利用者の利便性、管理者の管理しやすさに配慮した。一般閲覧と児童用閲覧とは階を分けるとにより静かな読書環境空間に注力した。

肯定的：公園に匹敵する並木を意図して西配置の植栽
 否定的：集合住宅
 日照の太陽入射角

3/6

③ 避難動線計画について、工夫したこと

2方向避難が可能となり、重複距離が短くなるようにするため、南と北の2方向に階段を設けた。ホールについては人数が最も多いことを考慮して共用、管理部門ゾーンと通じる非常口も設けた。

不足

3/6

(2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物に採用した構造種別、架構形式、これらを採用した理由

構造種別：鉄筋コンクリート構造（一部金網構造）
 架構形式：耐力壁付ラ-X-架構
 理由：図書館という建築用途から、耐久性、耐火性、遮音性に優れた鉄筋コンクリート構造を採用した。平面計画が比較的自由にできるラ-X-架構を採用し、さらなる耐震性向上を期待して、耐力壁付とした。

併用構造種別を採用した理由欠

4/6

② 耐震計画について、工夫したこと

公共建築物ということから重率係数を1.25以上とて計画する。建物の長辺方向に、重心バランスを考慮して耐力壁を配置して耐震性を高めた。地震力に抵抗する強度を高めるため、大梁は剛性を重視した断面寸法とし、鉄筋-X-となる長辺方向の大梁は、じん性も有るように配筋を計画した。また断面計算はしていない。

LT=断面とした。

5/6